

# 謙信公「義の塩」

上越市産業環境部観光課長 西山工三

郷土の名將、上杉謙信公が今川・北条の塩止めで苦しむ武田信玄に塩を送ったという逸話が「敵に塩を送る」という故事につながっているのは有名です。

謙信公「儀の塩」の開発は、謙信公の威風・息吹を感じて、遺徳を偲ぶとともに、歴史的風土を再認識する機会をつくり、培われた地域の資源・特性を活かしながら、当市の特産品・土産品の開発・商品化を試みることを目的に、上越観光コンベンション協会と谷浜観光協会、上越市が協力して、平成十三年度から事業を進めてまいりました。

平成十三・十四年度は、特産品づくりの組織づくり、試作品の作成、謙信公祭で献上塩としての活用、商品化・事業化の検討、塩づくり体験イベント、先進地視察などを行いました。また平成十五年度は、NHKBS2「おーいニッポン

とことん新潟」へも出演し、謙信公「義の塩」を全国へPRするとともに消費者及び販売者に対して試供品を配付し商品化のモニター調査を実施し、その結果を踏まえて検討委員会を開催しました。

委員の皆さんからは、謙信公「義の塩」を商品化するための販売ターゲットについては、大手流通を介した一般消費者ではなく、「特産品・土産品としての観光客」「原材料としての食品メーカー（味噌菓子等）」とするのがよいのではないかという提言などをいただきました。

その提言を裏づけるように、今年度は、「義の塩」を使った塩ラーメンも販売され、「今までの塩ラーメンと食べ比べると、まるやかさがあり飽きのこない仕上がりになっている」とラーメン店長は話しておられます。

その他にも、「義の塩」を使った味噌や

饅頭、羊羹にも使用されておりますので、皆さんも是非一度ご賞味ください。

しかしながら、1kgの製造原価が二、〇〇〇円近くで、全経費に占める人件費燃料費の割合が高く、大幅な低減は不可能に近いので、今後は、来年一月の合併を見据えて、谷浜地域のみならず、上越市の認知度を塩づくり体験イベントや地産地消の推奨により、さらに誘客を進めてまいりますので、ご支援賜りますようお願いいたします。

